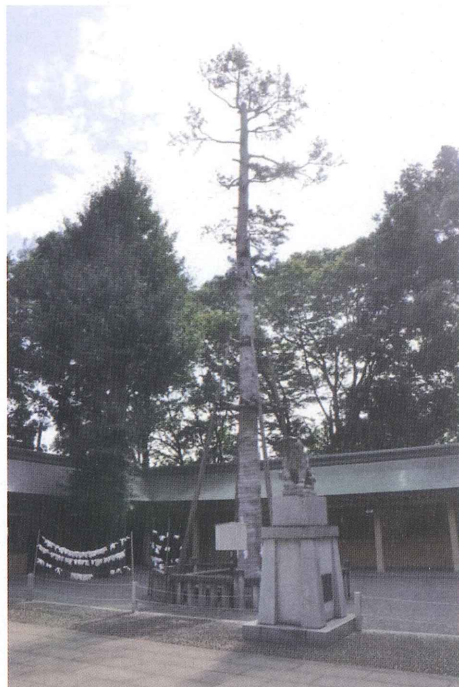


荻窪八幡神社のコウヤマキ



〔指定年月日〕昭和六一年三月三日
〔種別〕天然記念物（植物）
〔名称〕荻窪八幡神社のコウヤマキ
〔点数〕一本
〔所有者等〕荻窪八幡神社
〔所在地等〕上荻四一九一二

荻窪八幡神社のコウヤマキ

社頭に立つ荻窪八幡神社の御神木である。樹高約二〇m、目通り二・〇二m、根元回り四・二五m、樹齡は三〇〇年以上と推定されている。

現在は一本立ちとなつてゐるが、本来は一根二幹であつたが昭和九年（一九三四）の台風で一幹が折れ、地上約八〇cmのところまで切断したものである。

コウヤマキは日本特産の常緑高木で、分布は福島県河沼郡野沢町（現西会津町野沢）を北限とし、木曾・高野山・広島恵下山・高地の山地・九州の日向尾鈴山・吹山に限定され、関東周辺では自生のものは少ないといわれている。

ただ、東照宮・日吉神社・権現社やこれらに属する系統の神社では、御神木として植栽されることが多く、当社のマキもこの例と思われる。

このマキは文明九年（一四七七）、太田道灌が豊島氏の石神井城を攻撃した際に、当地で軍神祭を行ない、戦勝祈願のため社頭に自ら献植したという伝承をもつ老木で、三〇〇年を越す樹齡にもかかわらず、樹勢も優れ、都内でも有数のコウヤマキの巨樹に数えられるものである。

【文化財所在地】

